



## 2020年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月13日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東  
 コード番号 3550 URL <https://www.atao.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 (氏名) 山口 敬之 TEL 03-6226-2772  
 ゼネラルマネージャー  
 定時株主総会開催予定日 2020年5月25日 配当支払開始予定日 2020年5月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年2月期の連結業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	4,142	△1.7	788	6.0	789	5.8	540	1.5
2019年2月期	4,214	22.5	743	34.6	746	34.9	532	48.3

（注）包括利益 2020年2月期 540百万円（1.5%） 2019年2月期 532百万円（48.3%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	42.55	41.90	24.9	28.2	19.0
2019年2月期	42.52	41.47	32.7	33.8	17.6

（注）当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	2,988	2,442	81.7	191.57
2019年2月期	2,600	1,896	72.9	150.80

（参考）自己資本 2020年2月期 2,442百万円 2019年2月期 1,896百万円

（注）当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	744	△118	△107	1,913
2019年2月期	442	△50	190	1,394

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	63	11.5	2.9
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）1. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2. 2021年2月期の配当予想額は、未定であります。

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

2021年2月期の連結業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	12,750,000株	2019年2月期	12,576,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期	296株	2019年2月期	296株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	12,694,606株	2019年2月期	12,516,852株

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	4,142	△1.7	786	6.0	788	5.8	539	1.5
2019年2月期	4,214	22.5	742	34.7	745	35.0	531	48.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	42.49	41.84
2019年2月期	42.46	41.42

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	2,975	2,434	81.8	190.91
2019年2月期	2,578	1,888	73.2	150.20

(参考) 自己資本 2020年2月期 2,434百万円 2019年2月期 1,888百万円

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

決算説明会資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
連結損益計算書 .....	5
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(表示方法の変更) .....	9
(会計上の見積りの変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善などを背景に緩やかな景気回復基調で推移しておりましたが、消費税増税や自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、急速な個人消費の減少、企業収益の悪化等の影響が生じております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続きインターネット販売や既存店の強化を行っております。また、オンラインショップと店舗の一層の連携を図るべく、引続き販売促進費への投資、SNS活動の強化、自社ブランドのポータルブログを活用したO2O戦略の強化を行ったものの、インターネット広告単価の上昇等に伴う販売促進費の効率化等の影響により、インターネット販売が1,914,734千円(前連結会計年度比8.4%減)、店舗販売が1,994,480千円(同1.6%増)となりました。

さらに、2019年3月15日にブランド価値向上及び顧客サービスの一層の強化並びに売上及び利益の更なる拡大を図るべく、ATAO神戸本店及びIANNE神戸店を大幅拡張リニューアルし、当社グループが展開するすべてのコンテンツ及び限定品を取り扱う総合ショップ「アタオランド」をオープンいたしました。また、効率的な店舗運営等の観点から、同店の近隣店舗であるATAO大丸神戸店の営業を2019年3月5日をもって終了し、「アタオランド」に移転統合しております。「アタオランド」は、当社グループが展開するすべてのコンテンツを盛り込んだ、全国初の約100坪の大型店舗であり、ブランド発祥の地である神戸から、これまで以上に発信を強化し、他府県からの観光客の取り込みや、海外からの観光客にも訴求できる魅力ある店づくりを行ってまいります。

加えて、キャラクターブランドであるILEMERについて、サプライズ・ハッピードール等の商品拡充を図りながら、動画クリエイターとコラボしたプロモーション等を実施するとともに、越境ECの展開を開始しております。

以上の結果、「アタオランド」のオープンに向けた休業期間やATAO大丸神戸店の移転統合、インターネット広告単価の上昇等に伴う販売促進費の効率化、消費税増税による反動減等の影響により、当連結会計年度の売上高は4,142,804千円(前連結会計年度比1.7%減)となりました。また、「アタオランド」の出店に伴う一時費用の発生等の影響があったものの、インターネット広告に係る販売促進費の効率化等により営業利益は788,043千円(同6.0%増)、経常利益は789,225千円(同5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は540,108千円(同1.5%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、総資産2,988,744千円であり、前連結会計年度末と比較して388,230千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が518,420千円、有形固定資産が55,578千円増加したことでありま

す。負債につきましては、負債合計は546,342千円であり、前連結会計年度末と比較して157,719千円減少しております。主な要因は、長期借入金が113,844千円減少したことでありま

す。純資産は2,442,401千円であり、前連結会計年度末と比較して545,949千円増加しております。主な要因は、利益剰余金が540,108千円増加したことでありま

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、1,913,143千円となり、前連結会計年度末より518,420千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは744,226千円(前連結会計年度比301,786千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益771,104千円、たな卸資産の減少額189,601千円による資金の増加があった一方、法人税等の支払額235,538千円による資金の減少があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは118,398千円(前連結会計年度比68,192千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出96,229千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは107,408千円(前連結会計年度は190,248千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出113,249千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国経済の今後の見通しは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により非常に不透明であり、日本政府より発出された緊急事態宣言に伴う当社店舗の臨時休業の継続期間や営業再開後の来店、消費動向等についても予測が困難な状況であります。

このような状況を踏まえ、現時点においては業績に与える影響に未確定要因が多いことから、2021年2月期につきましては連結業績予想の適正かつ合理的な算定が困難と判断し未定としております。今後、業績予想の適正かつ合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

引続き「トレンドに左右されない商品企画と、定番商品を人気商品化するノウハウ」を強みとして、O2O戦略の強化を図り、インターネット販売及び店舗販売等の継続的な成長を目指してまいります。また、キャラクターとブランドを融合させたエンタテインメントビジネスの強化に向け、中長期的に取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、国際会計基準の適用動向等、諸情勢を考慮しながら、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,394,723	1,913,143
売掛金	295,467	274,182
商品	676,968	487,366
その他	11,689	12,373
流動資産合計	2,378,849	2,687,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,311	132,668
その他(純額)	17,982	15,203
有形固定資産合計	92,293	147,872
無形固定資産		
15,405	15,405	11,364
投資その他の資産		
繰延税金資産	39,707	47,759
その他	74,257	94,682
投資その他の資産合計	113,964	142,441
固定資産合計	221,664	301,678
資産合計	2,600,514	2,988,744
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,134	8,059
1年内返済予定の長期借入金	113,844	114,439
未払金	88,267	129,239
未払法人税等	138,075	143,884
ポイント引当金	16,858	20,442
その他	64,053	58,778
流動負債合計	523,234	474,844
固定負債		
長期借入金	150,549	36,705
退職給付に係る負債	9,605	12,344
資産除去債務	20,672	22,449
固定負債合計	180,827	71,498
負債合計	704,061	546,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	128,285	131,205
資本剰余金	118,285	121,205
利益剰余金	1,650,220	2,190,328
自己株式	△338	△338
株主資本合計	1,896,452	2,442,401
純資産合計	1,896,452	2,442,401
負債純資産合計	2,600,514	2,988,744

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	4,214,117	4,142,804
売上原価	1,584,970	1,492,573
売上総利益	2,629,146	2,650,230
販売費及び一般管理費		
販売促進費	690,558	623,042
ポイント引当金繰入額	9,569	3,584
給料及び手当	206,109	229,646
地代家賃	169,763	229,319
支払手数料	317,925	306,421
その他	491,581	470,173
販売費及び一般管理費合計	1,885,507	1,862,187
営業利益	743,639	788,043
営業外収益		
受取家賃	1,022	1,164
保険解約返戻金	2,408	255
消費税差額	-	242
その他	146	130
営業外収益合計	3,578	1,792
営業外費用		
支払利息	923	610
営業外費用合計	923	610
経常利益	746,294	789,225
特別損失		
固定資産除却損	57	49
減損損失	-	18,071
特別損失合計	57	18,120
税金等調整前当期純利益	746,237	771,104
法人税、住民税及び事業税	211,974	239,047
法人税等調整額	2,010	△8,051
法人税等合計	213,985	230,996
当期純利益	532,252	540,108
親会社株主に帰属する当期純利益	532,252	540,108

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	532,252	540,108
包括利益	532,252	540,108
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	532,252	540,108
非支配株主に係る包括利益	—	—



## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	127,079	117,079	1,117,967	△105	1,362,020	1,362,020
当期変動額						
新株の発行	1,206	1,206			2,412	2,412
親会社株主に帰属する当期純利益			532,252		532,252	532,252
自己株式の取得				△232	△232	△232
当期変動額合計	1,206	1,206	532,252	△232	534,431	534,431
当期末残高	128,285	118,285	1,650,220	△338	1,896,452	1,896,452

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	128,285	118,285	1,650,220	△338	1,896,452	1,896,452
当期変動額						
新株の発行	2,920	2,920			5,841	5,841
親会社株主に帰属する当期純利益			540,108		540,108	540,108
自己株式の取得					-	-
当期変動額合計	2,920	2,920	540,108	-	545,949	545,949
当期末残高	131,205	121,205	2,190,328	△338	2,442,401	2,442,401

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	746,237	771,104
減価償却費	52,415	41,093
減損損失	—	18,071
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,910	2,738
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9,569	3,584
支払利息	923	610
売上債権の増減額(△は増加)	26,787	21,285
仕入債務の増減額(△は減少)	57,970	△94,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221,043	189,601
未払金の増減額(△は減少)	△27,071	40,588
その他の資産の増減額(△は増加)	310	△1,439
その他の負債の増減額(△は減少)	△11,546	△12,950
その他	△16,168	130
小計	620,294	980,344
利息及び配当金の受取額	14	17
利息の支払額	△923	△597
法人税等の支払額	△176,945	△235,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,440	744,226
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,555	△96,229
無形固定資産の取得による支出	△7,582	△1,744
差入保証金の差入による支出	△15,152	△17,123
その他	8,084	△3,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,205	△118,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△111,931	△113,249
株式の発行による収入	2,412	5,841
その他	△232	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,248	△107,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	582,483	518,420
現金及び現金同等物の期首残高	812,239	1,394,723
現金及び現金同等物の期末残高	1,394,723	1,913,143

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(会計上の見積りの変更)

当社は、当連結会計年度において、2020年8月に一部店舗のリニューアルを実施することを決定いたしました。これにより利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当該店舗の賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ12,786千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	150.80円	191.57円
1株当たり当期純利益	42.52円	42.55円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	41.47円	41.90円

(注) 1 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	532,252	540,108
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	532,252	540,108
普通株式の期中平均株式数(株)	12,516,852	12,694,606
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	314,450	197,268
(うち新株予約権(株))	(314,450)	(197,268)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

## (1) 資金の借入

当社は、2020年3月25日開催の取締役会決議に基づき、以下のとおり資金の借入を実行しております。

借入先	株式会社三井住友銀行	株式会社三菱UFJ銀行
借入金額	700,000千円	300,000千円
借入利率(年利)	変動金利	固定金利
資金使途	運転資金及び設備投資資金	運転資金及び設備投資資金
借入実行日	2020年3月31日	2020年3月31日
返済期限	2025年3月30日	2025年3月30日
担保等	無担保、無保証	無担保、無保証

## (2) 店舗の臨時休業による影響

当社グループは、2020年4月7日に日本政府より発出された緊急事態宣言を受けて、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、2020年4月8日から2020年5月6日(予定)までの期間、店舗の臨時休業を行うことといたしました。

これにより売上高の減少等が見込まれますが、当該感染症の拡大による影響範囲が不明であることから、翌期以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに及ぼす影響については、現時点において合理的に算定することが困難であります。